

建屋周辺の地下水位、汚染水発生量の状況

2025年 7月 3日

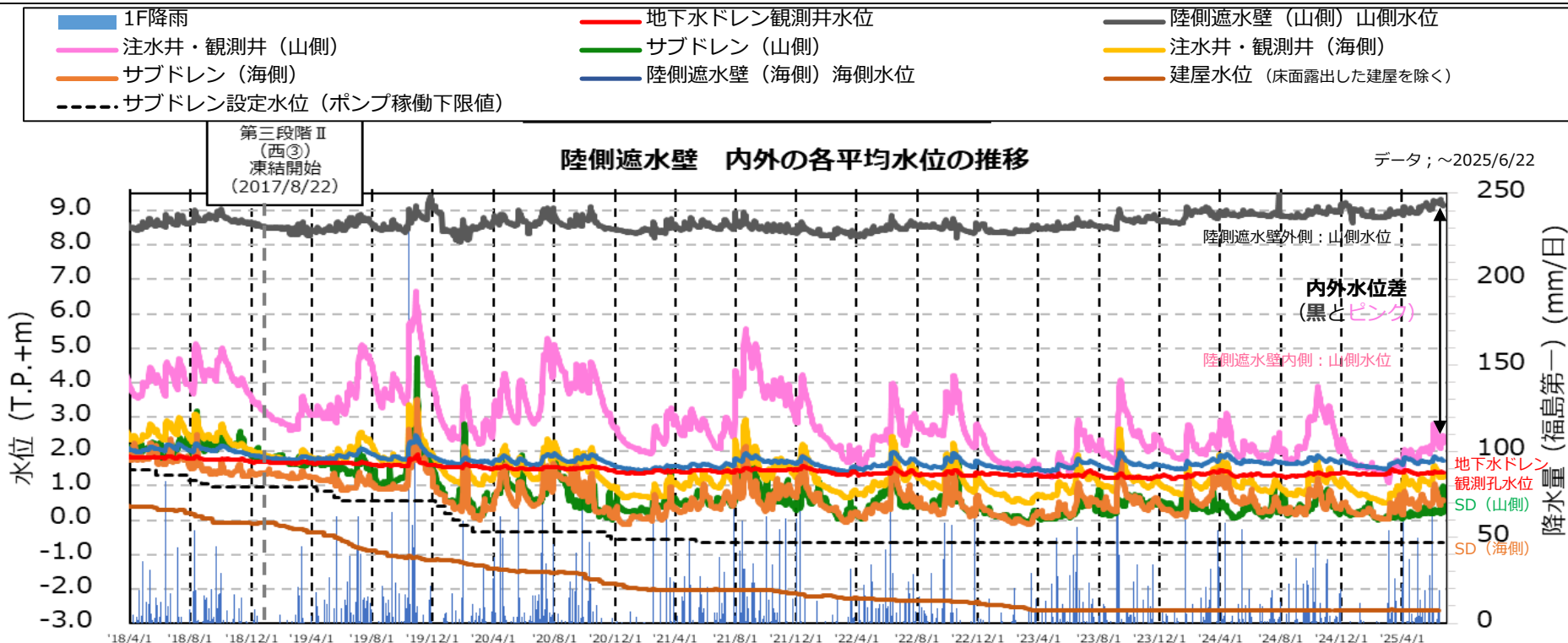
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 建屋周辺の地下水位、サブドレン等のくみ上げ量について	P2～3
2. 汚染水発生量について	P4
参考	P5～19

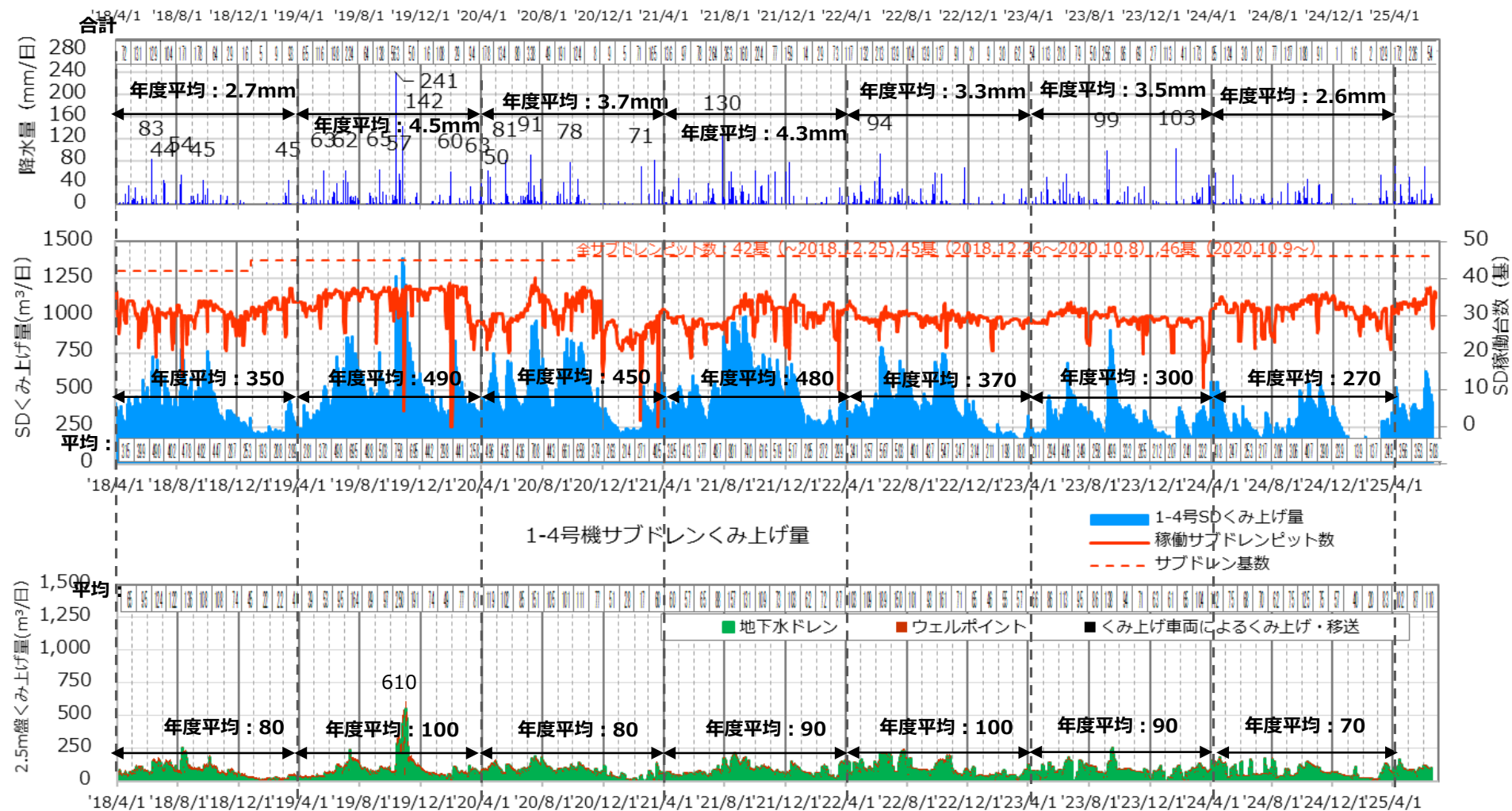
1-1. 建屋周辺の地下水位の状況

- 陸側遮水壁内側エリアの地下水位は山側では降雨による変動があるものの、内外水位差は確保した状態が維持されている
- 地下水ドレン観測井水位は約T.P.+1.4mであり、地表面から十分に下回っている（地表面高さ T.P.+2.5m）



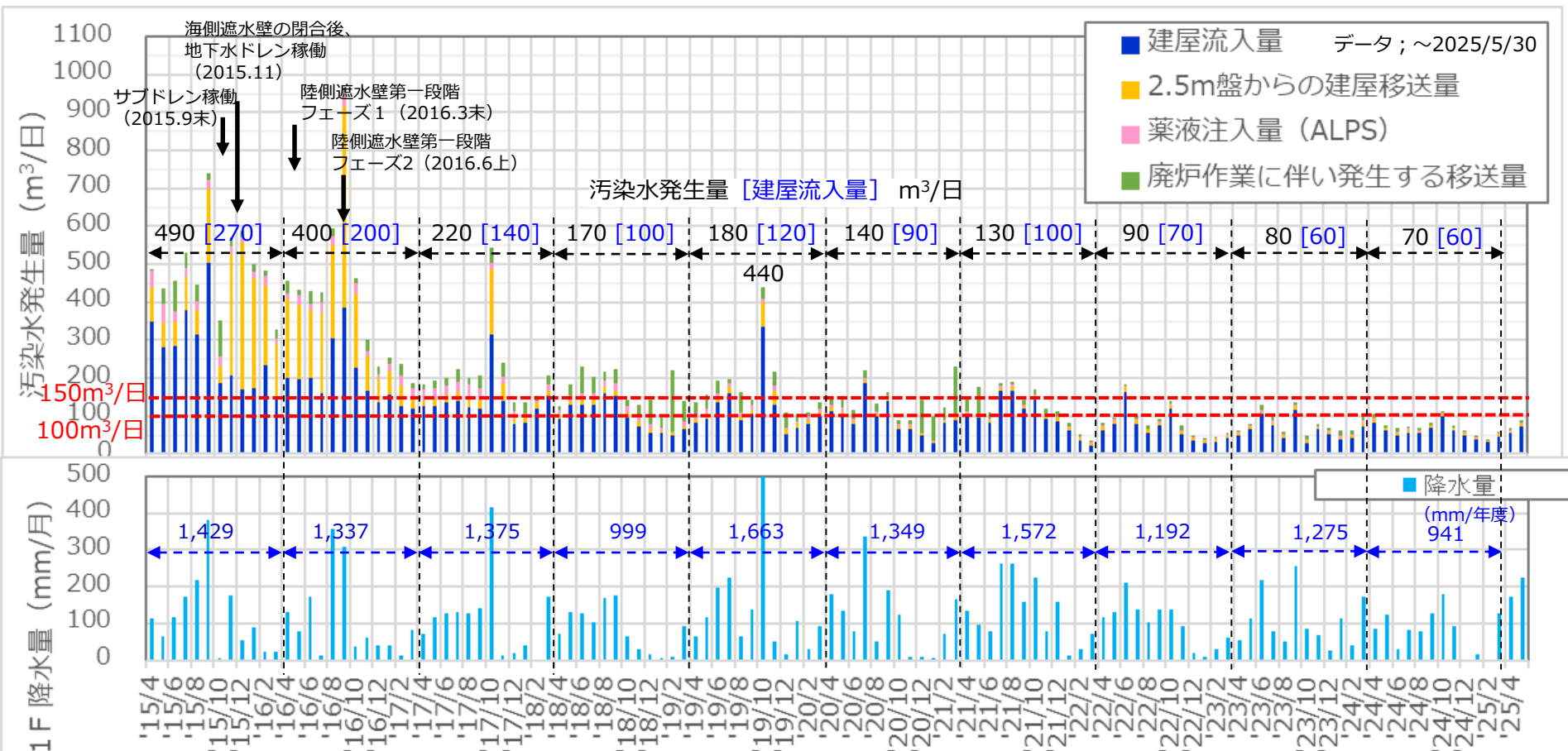
1-2. サブドレン・護岸エリアのくみ上げ量の推移

- 1-4号機サブドレンは、降水量に応じて、くみ上げ量が変動している状況である
- T.P.+2.5m盤くみ上げ量は、T.P.+2.5m盤エリアのフェーシングが完了しており、安定的なくみ上げ量で推移している状況である



2. 汚染水発生量の推移

- 2024年度：継続的な汚染水対策に加えて、降雨量が約940mmと少なかったこともあり、約70m³/日と既往最小となり抑制傾向が複数年にわたり継続して確認される。
- 2025年度：5月の降雨量は226mm（平年243mm）であり、建屋流入量は約70m³/日、汚染水発生量は約90m³/日で推移となっている。



注) 2017.1までの汚染水発生量(貯蔵量増加量)は、建屋滞留水増減量(集中ラド含む)と各タンク貯蔵増減量より算出しており、気温変動の影響が大きい
 ため、2017.2以降は上表の凡例に示す発生量の内訳を積み上げて算出する方法に見直している。よって、2017.1までの発生量の内訳は参考値である。

【参考 1】地中温度分布

【参考 1-1】 地中温度分布図（1・2号機北側）

■ 地中温度分布図

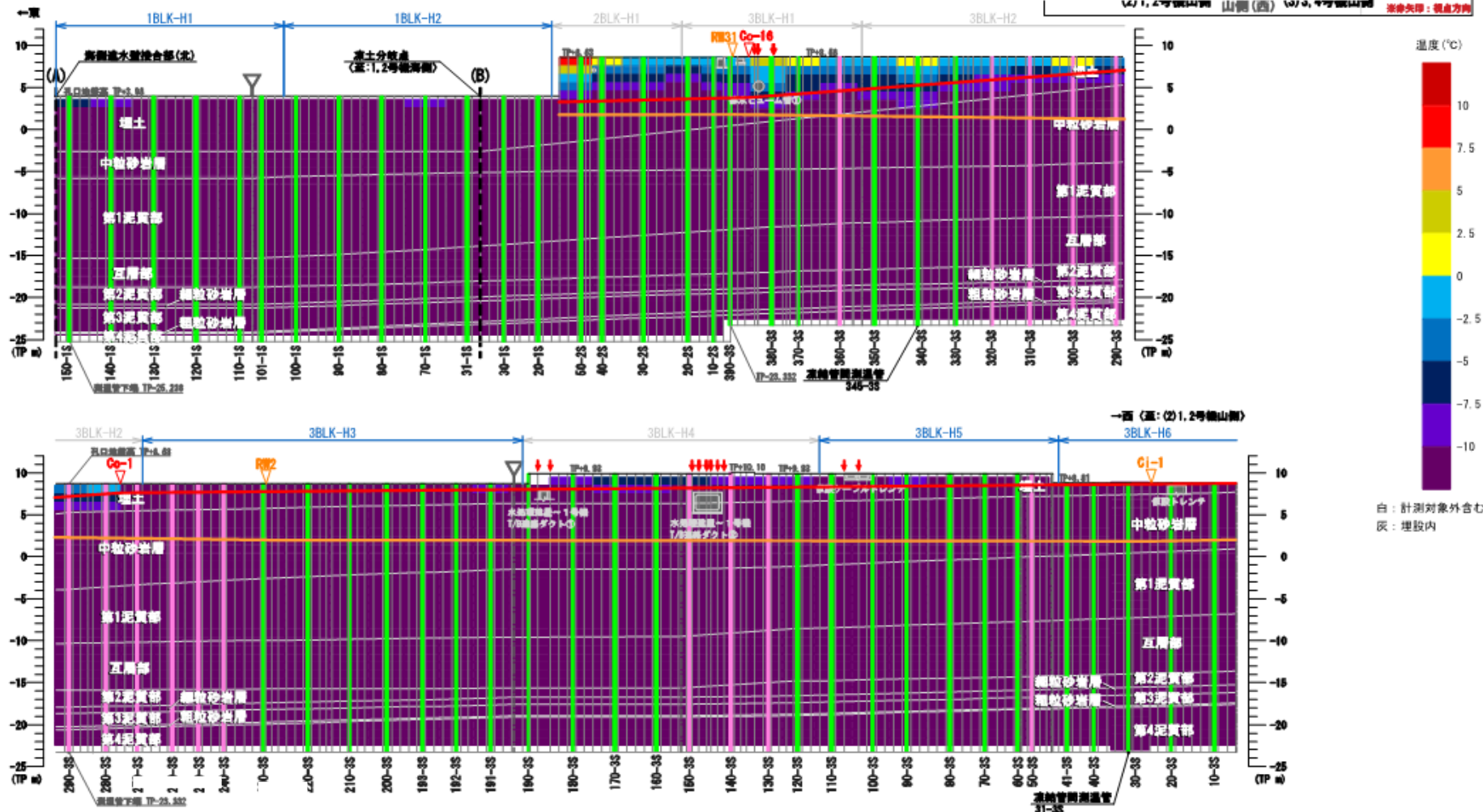
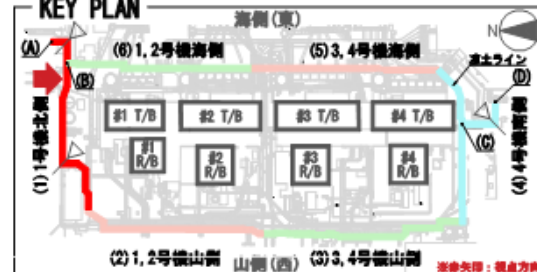
(1) 1号機北側（北側から望む）

（温度は6/17 7:00時点のデータ）

凡 例

- 測温管（凍土ライン外側）
- 測温管（凍土ライン内側）
- 複列部凍結管
- 凍土壁外側水位
- 凍土壁内側水位
- ▽ R/R（リチャージウェル）
- ▽ OI（中粒砂岩層・内側）
- ▽ Co（中粒砂岩層・外側）
- ▽ 凍土折れ点
- ↔ プライン除熱範囲
- ↔ プライン停止範囲

KEY PLAN



白：計測対象外含む
灰：埋設内

【参考 1-2】 地中温度分布図（1・2号機西側）

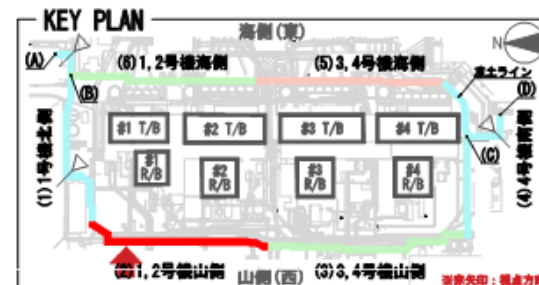
■ 地中温度分布図

(2) 1, 2号機山側（西側から望む）

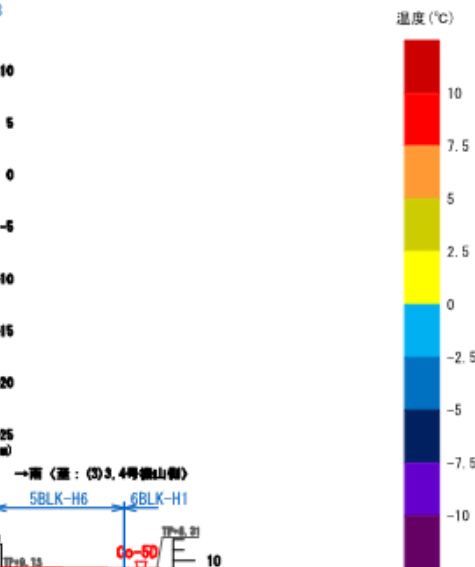
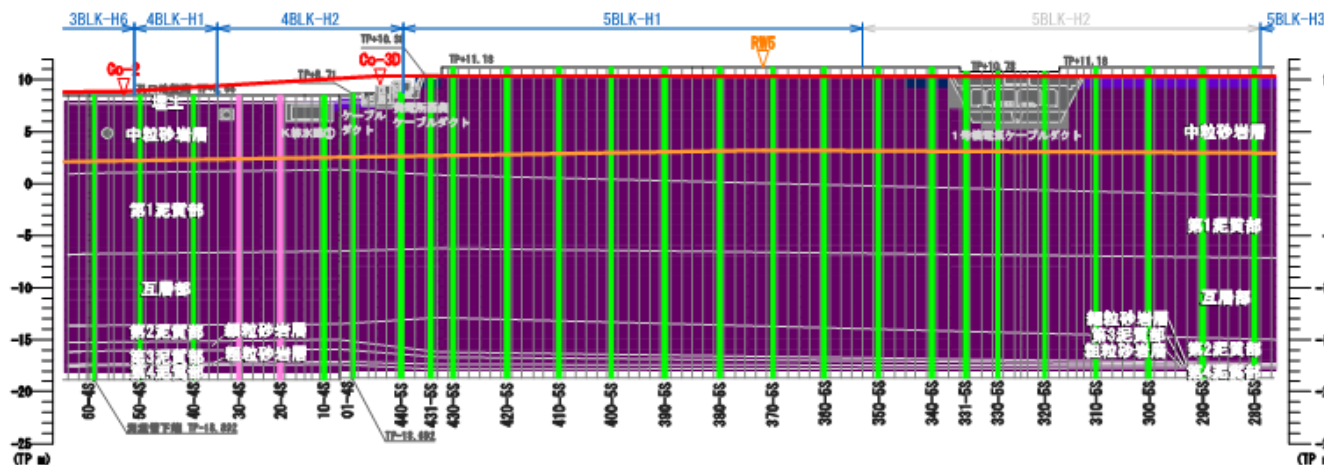
（温度は6/17 7:00時点のデータ）

凡例

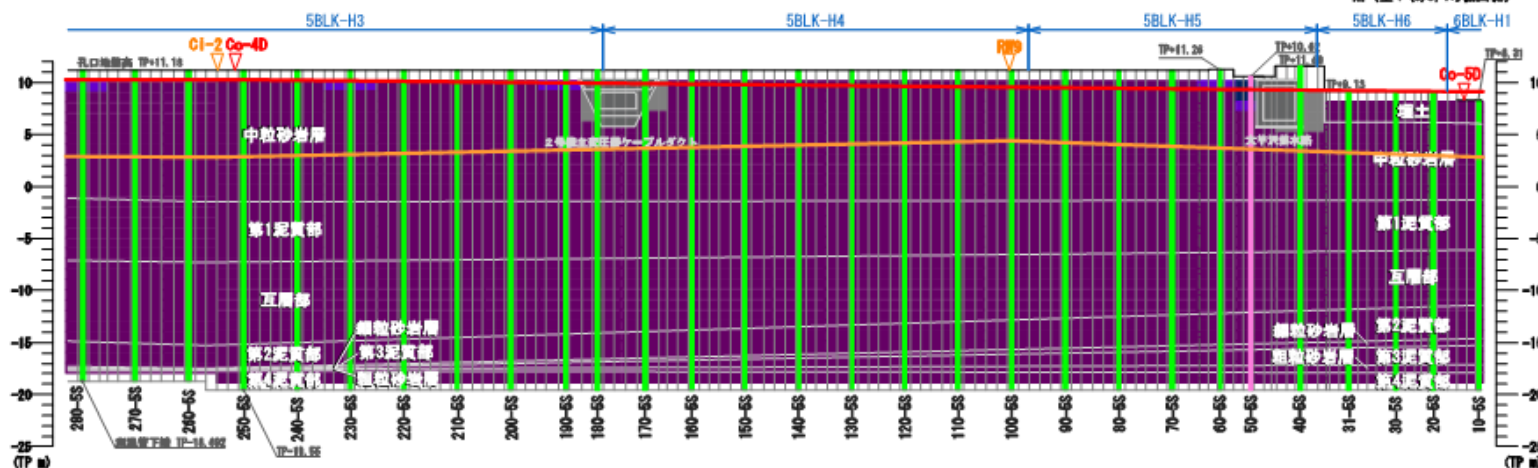
- 測温管（凍土ライン外側）
- 測温管（凍土ライン内側）
- 複列部凍結管
- 凍土壁外側水位
- 凍土壁内側水位
- △ R/R（リチャージウェル）
- △ OI（中粒砂岩層・内側）
- △ Co（中粒砂岩層・外側）
- ▽ 凍土折れ点
- ↔ プライン設置範囲
- ↔ プライン停止範囲



←北（面：(1)1号機北側）



→南（面：(3)3, 4号機山側）



白：計測対象外含む
灰：埋設内

■ 地中温度分布図

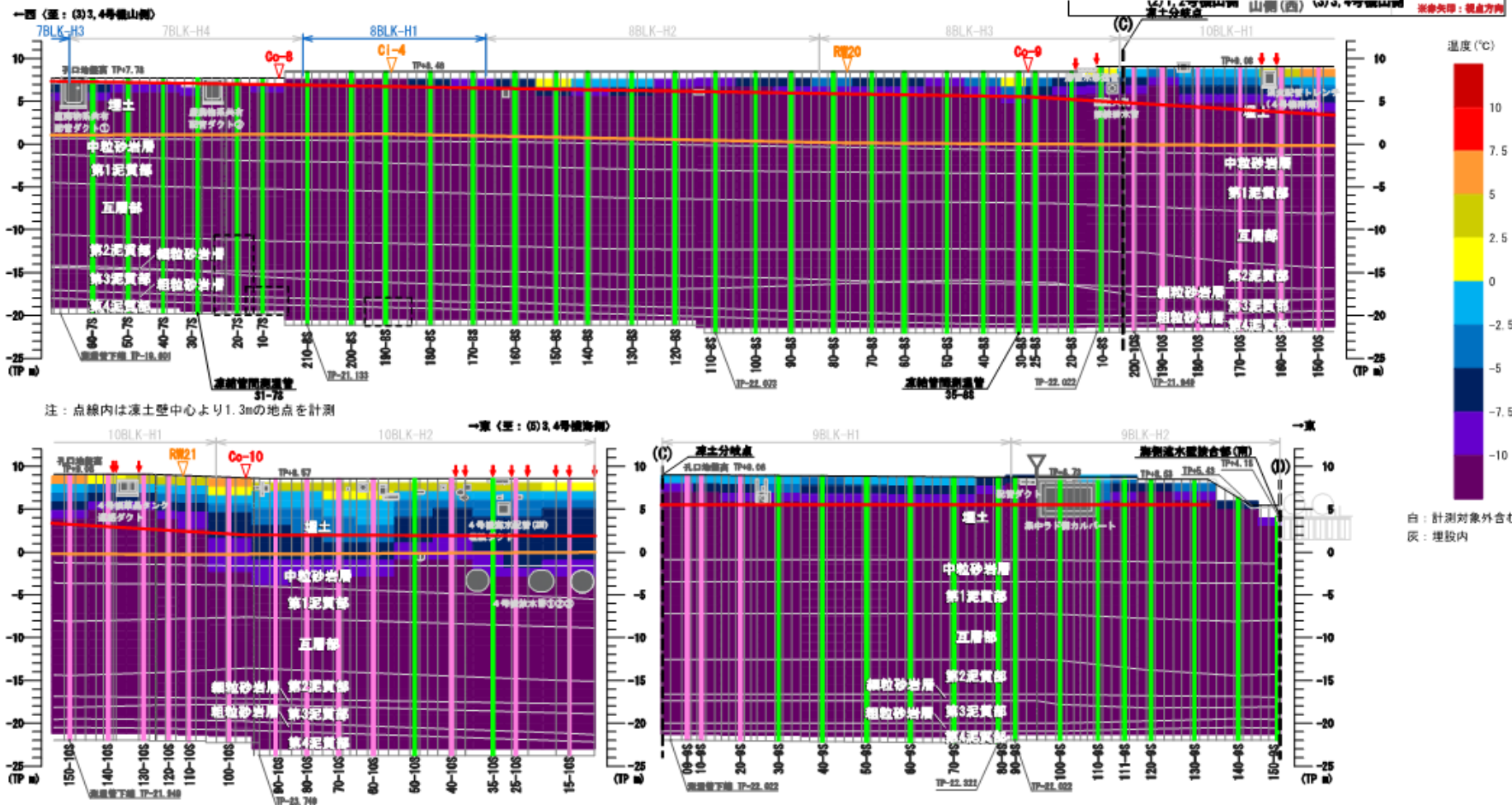
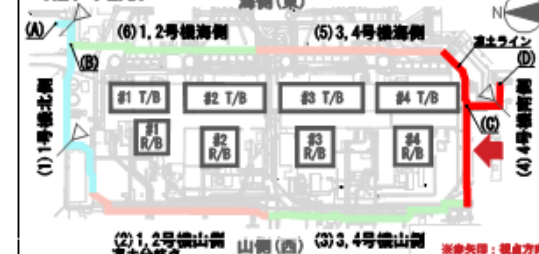
(4) 4号機南側（南側から望む）

（温度は6/17 7:00時点のデータ）

凡例

- : 測温管（凍土ライン外側）
- : 測温管（凍土ライン内側）
- : 複列部凍結管
- : 凍土壁外側水位
- : 凍土壁内側水位
- ▽ : RW（リチャージウェル）
- ▽ : CI（中粒砂岩層・内側）
- ▽ : Co（中粒砂岩層・外側）
- ▽ : 凍土折れ点
- ↔ : ブライン継続範囲
- ↔ : ブライン停止範囲

KEY PLAN



【参考 1 - 5】地中温度分布図（3・4号機東側）

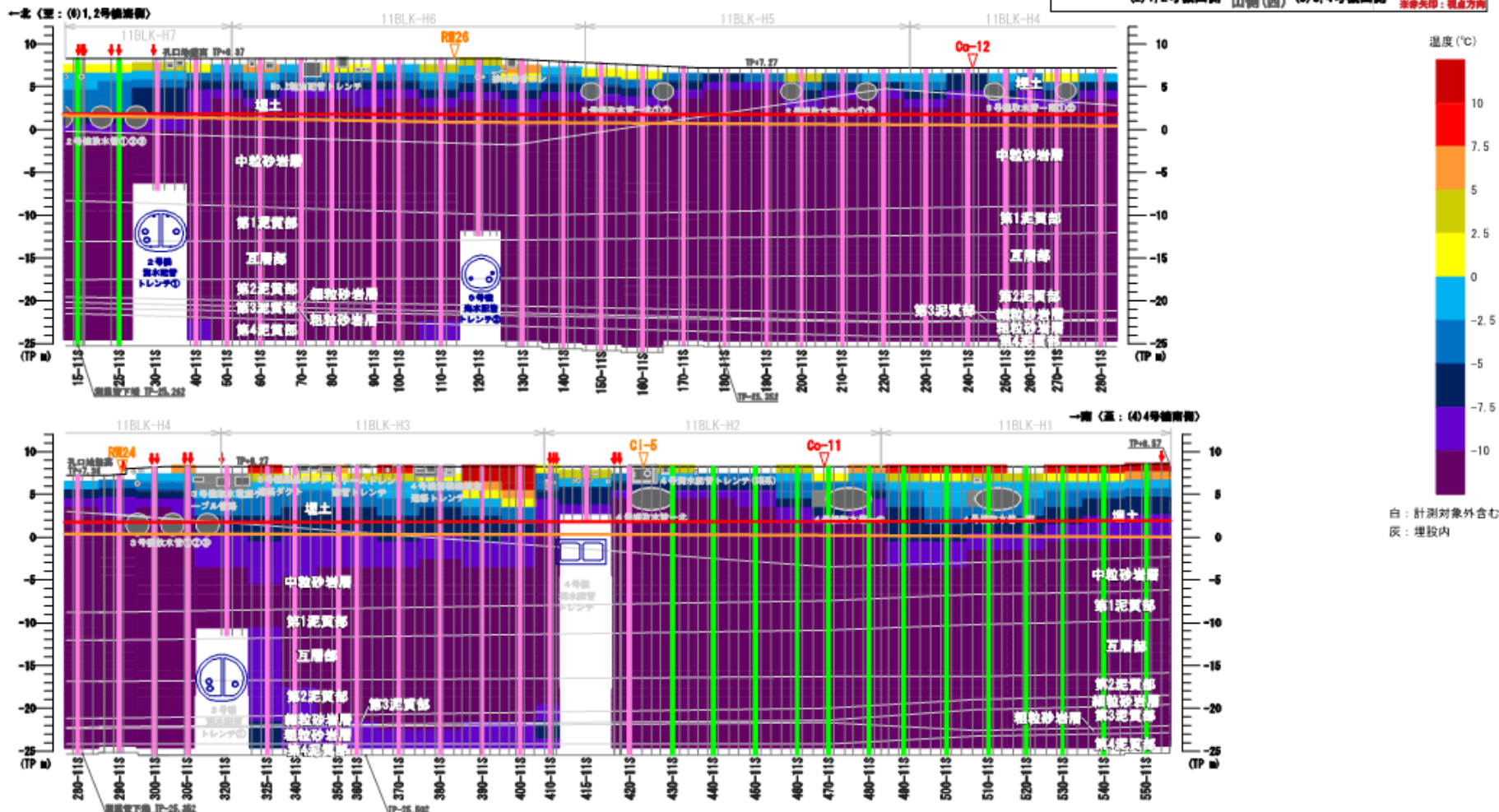
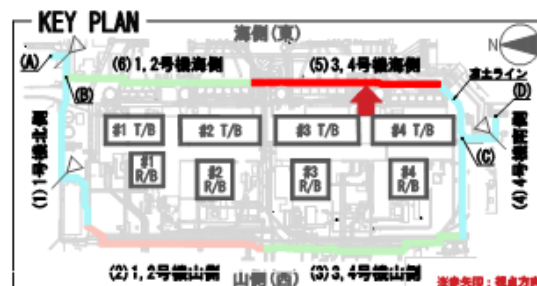
■ 地中温度分布図

(5) 3, 4号機海側（西側：内側から望む）

（温度は6/17 7:00時点のデータ）

凡 例

- : 測温管（凍土ライン外側）
- : 測温管（凍土ライン内側）
- : 複列部凍結管
- : 凍土壁外側水位
- : 凍土壁内側水位
- ▽ : RW（リチャージウェル）
- ▽ : CI（中粒砂岩層・内側）
- ▽ : Co（中粒砂岩層・外側）
- ▽ : 凍土折れ点
- ↔ : プライン破損範囲
- ↔ : プライン停止範囲

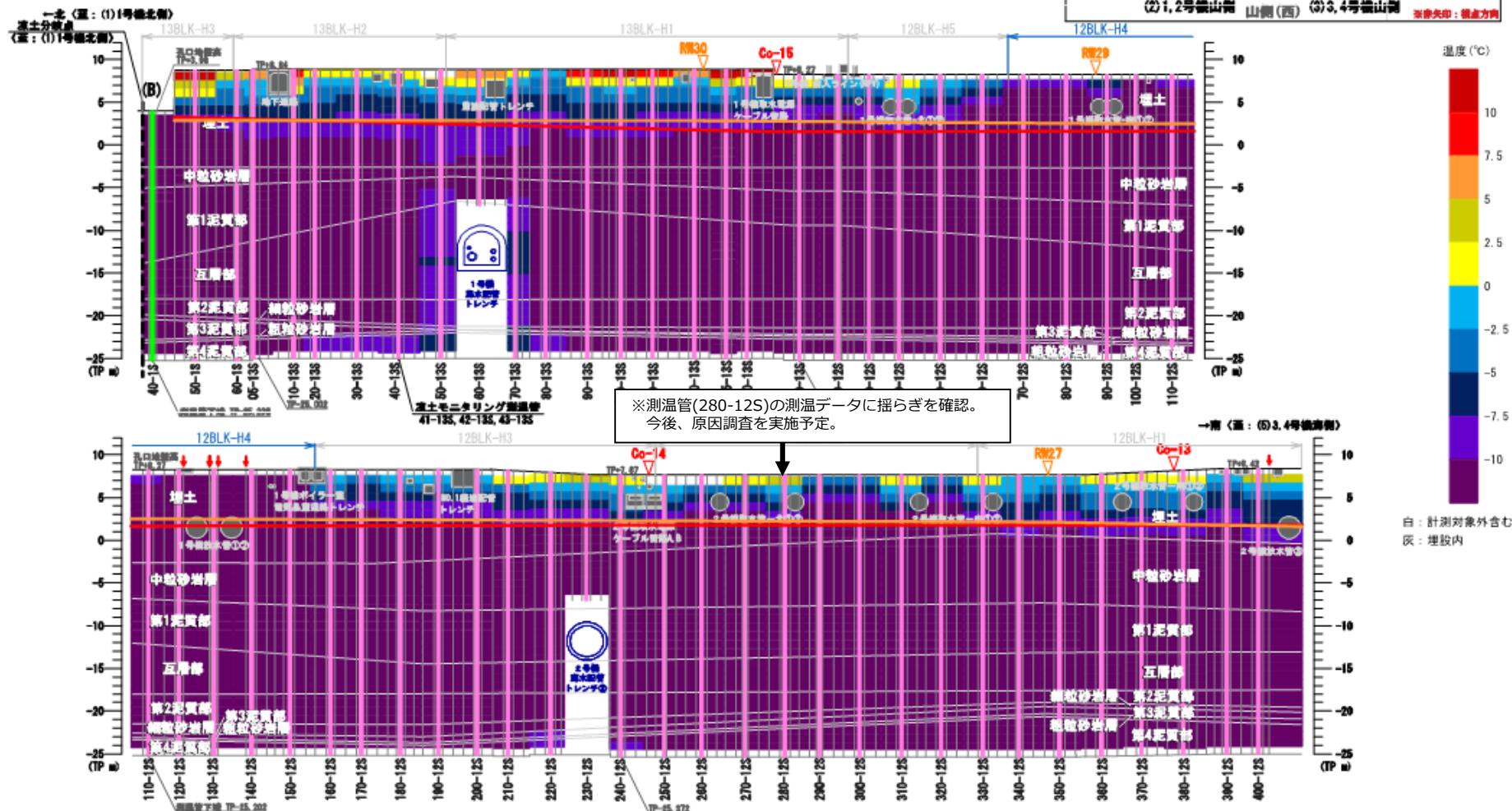
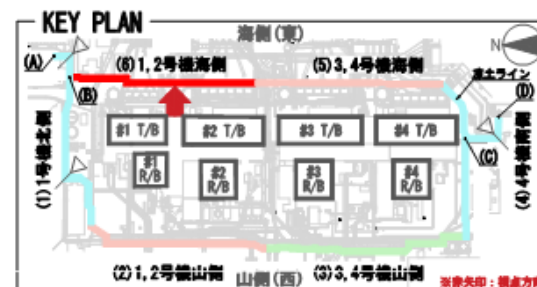


(温度は6/17 7:00時点のデータ)

凡例

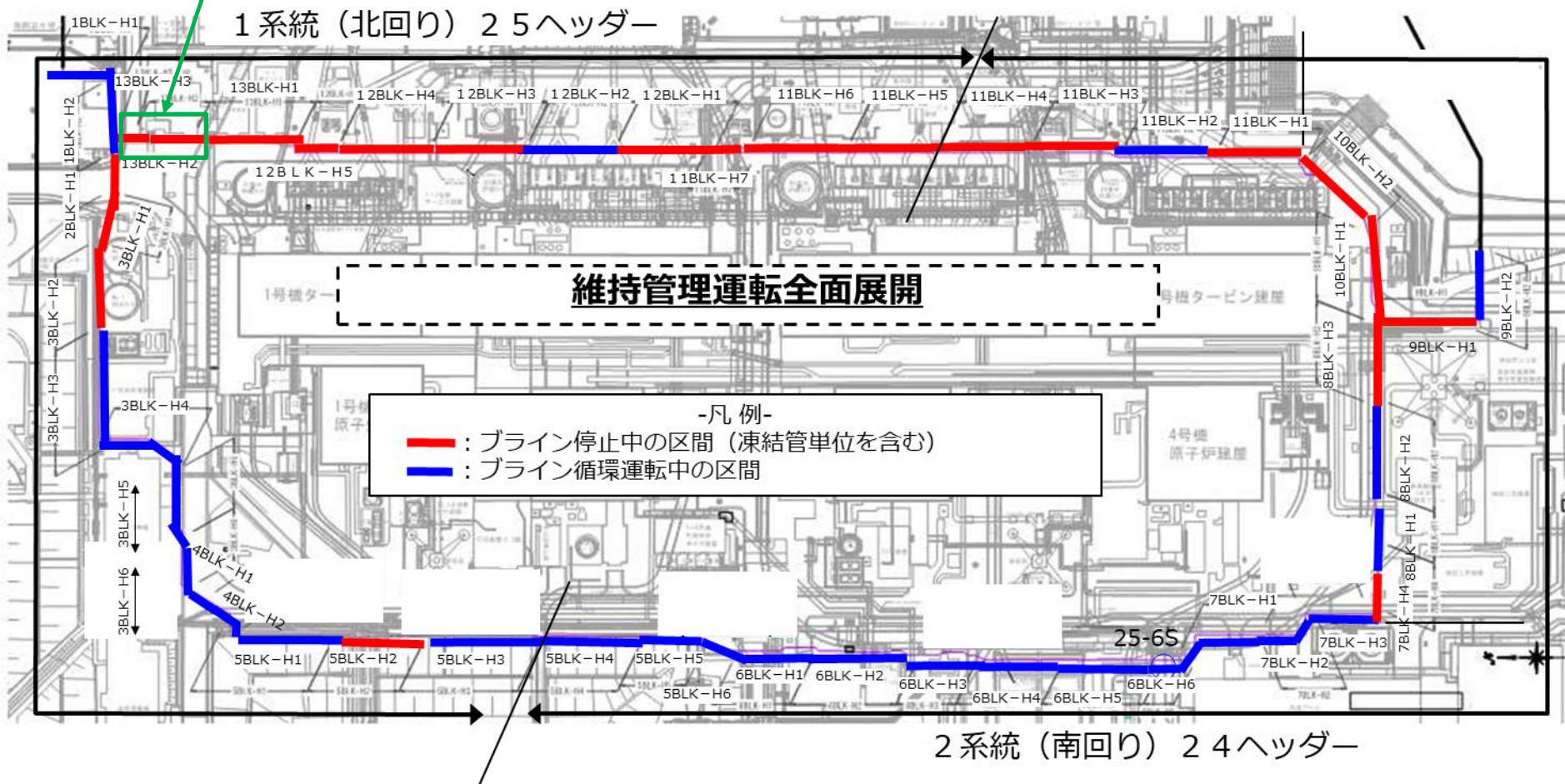
-  : 測温管 (凍土ライン外側)  : 障 (リチャージウェル)
 : 測温管 (凍土ライン内側)  : O1 (中粒砂岩層・内側)
 : 流注部凍結管  : Co (中粒砂岩層・外側)
 : 凍土壁外側水位  : 凍土折れ点
 : 凍土壁内側水位  : プライン検索範囲
 : プライン停止範囲

— KEY PLAN



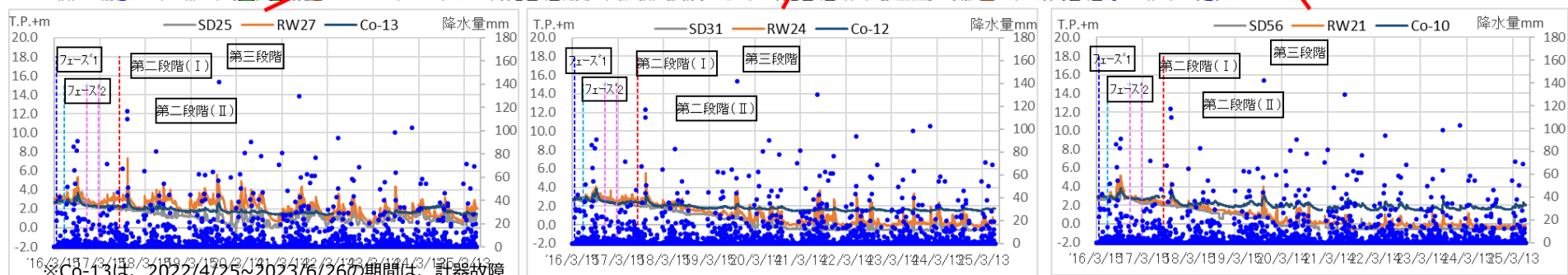
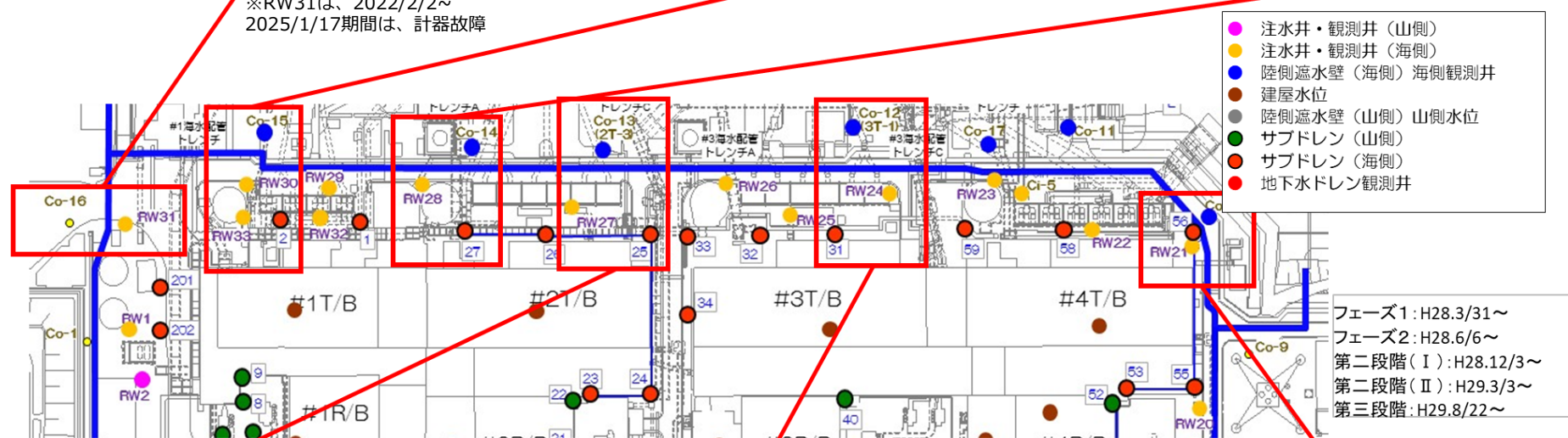
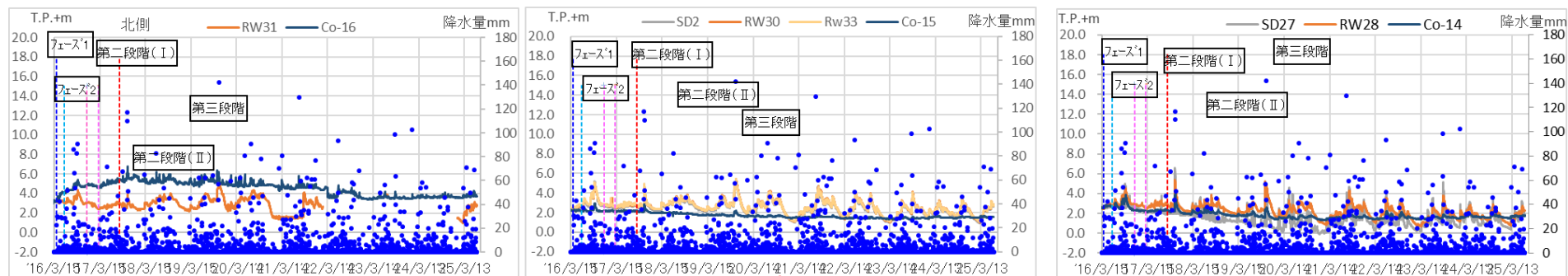
- 維持管理運転対象全49ヘッダー管（北回り1系統25ヘッダー、南回り2系統24ヘッダー）のうち19ヘッダー管（北側3，東側13，南側5，西側1）にてブライン停止中。

13BLK-H2：間引き運転併用（2025.1.10～）



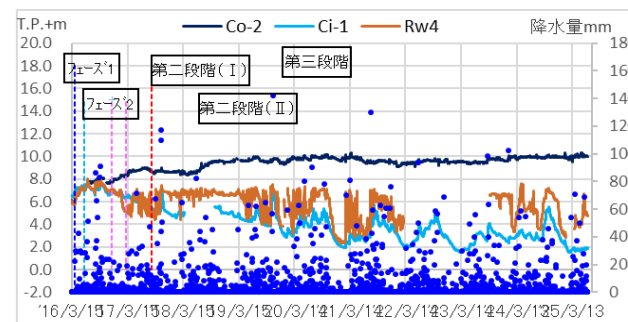
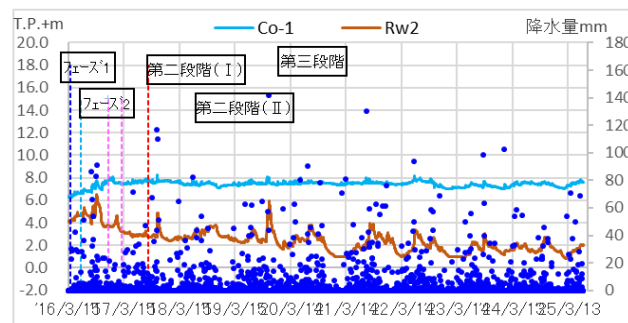
【参考 2】 地下水位・水頭の状況について

【参考2-1】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 海側）

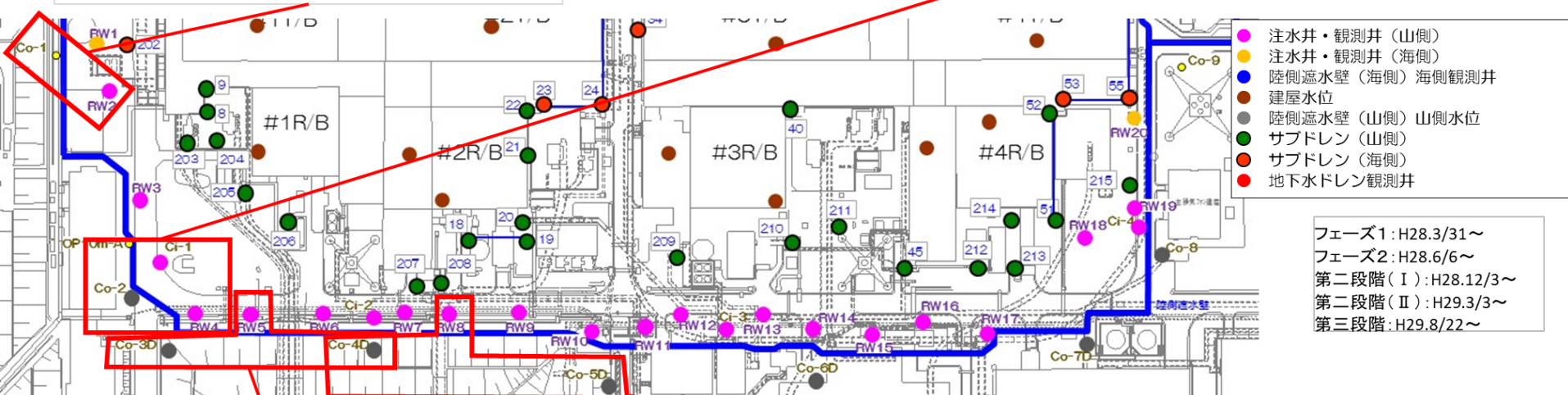


データ ; ~2025/6/21

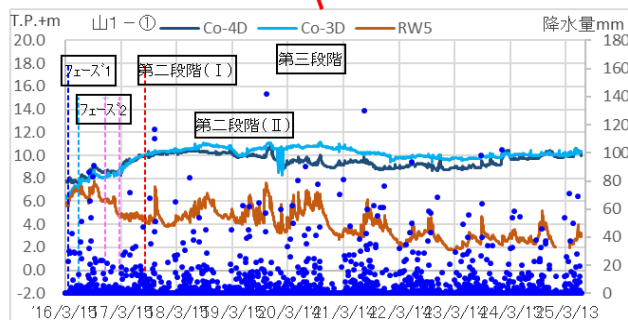
【参考2-2】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側①）



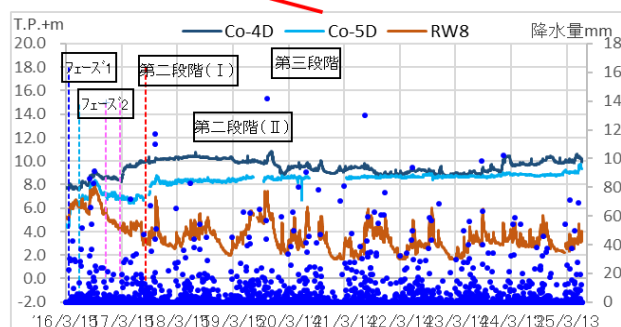
※RW4は、2023/3/29~2023/9/20
の期間は計器故障
2025/2/3~ 水位計設置位置変更
により欠測



フェーズ1: H28.3/31~
フェーズ2: H28.6/6~
第二段階 (I): H28.12/3~
第二段階 (II): H29.3/3~
第三段階: H29.8/22~

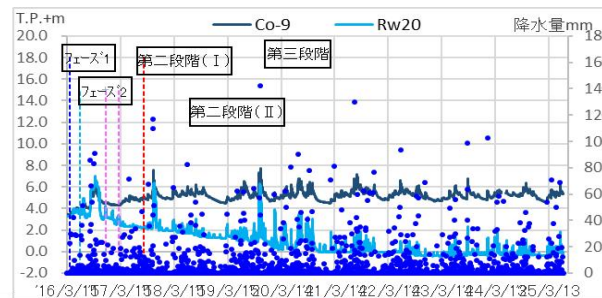


※RW5は、2025/1/4~ 水位計設置位置変更により欠測



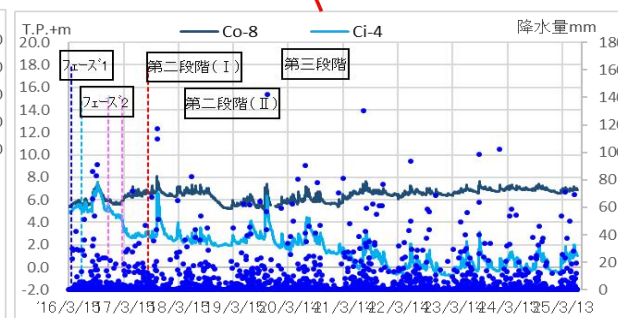
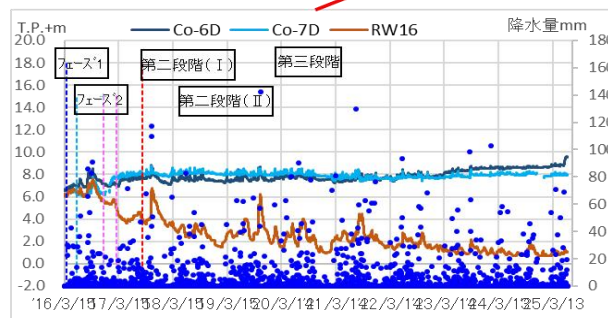
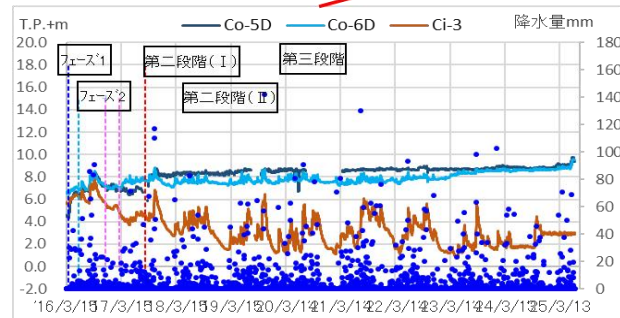
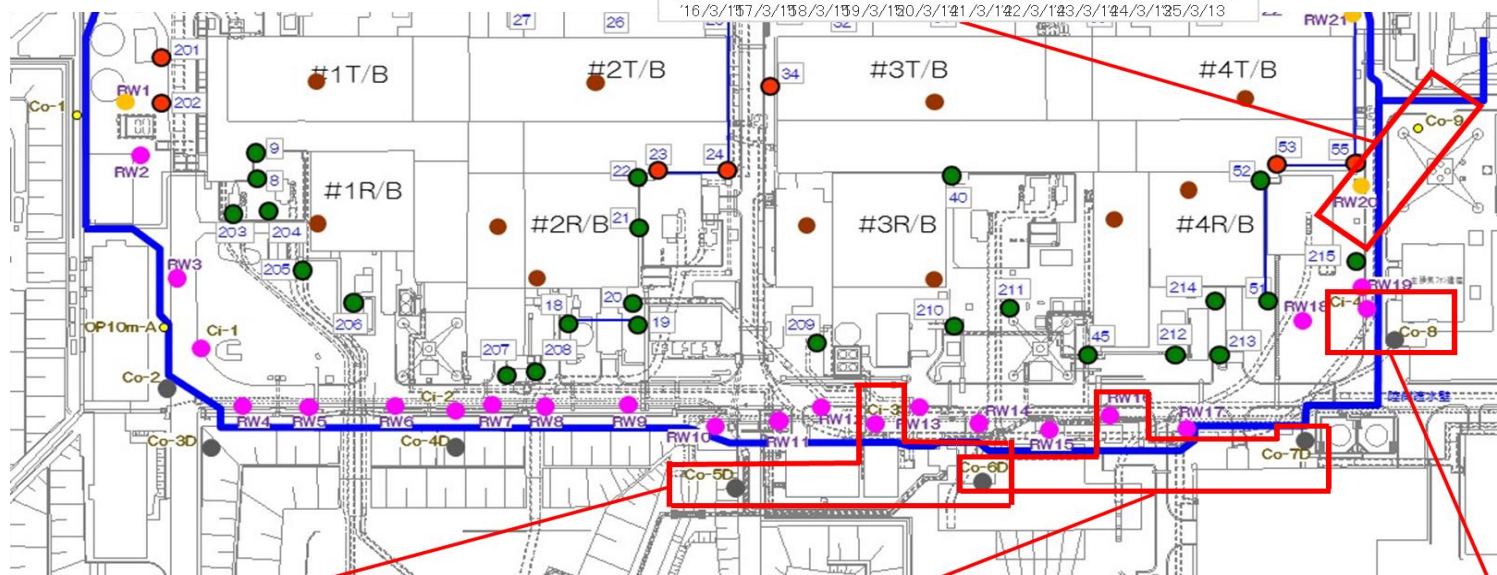
データ ; ~2025/6/21

【参考2-3】地下水位・水頭状況（中粒砂岩層 山側②）



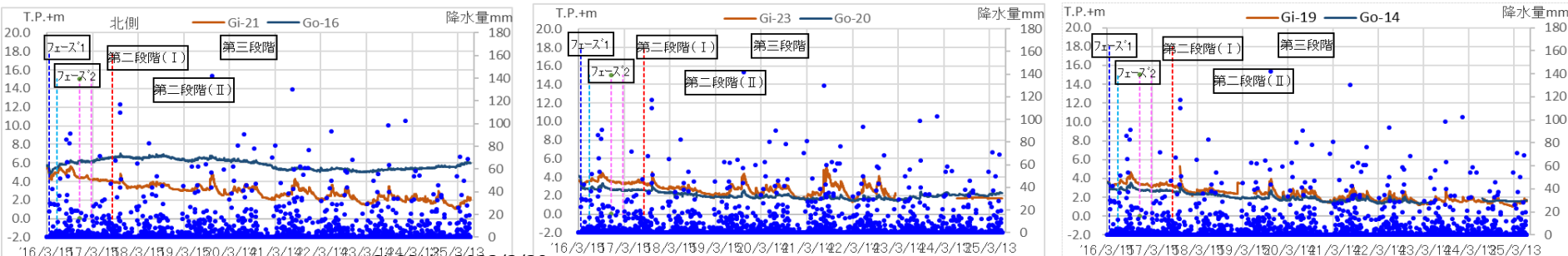
- 注水井・観測井（山側）
- 注水井・観測井（海側）
- 陸側遮水壁（海側）海側観測井
- 建屋水位
- 陸側遮水壁（山側）山側水位
- サブドレン（山側）
- サブドレン（海側）
- 地下水ドレン観測井

フェーズ1: H28.3/31～
フェーズ2: H28.6/6～
第二段階(I): H28.12/3～
第二段階(II): H29.3/3～
第三段階: H29.8/22～



データ ; ~2025/6/21

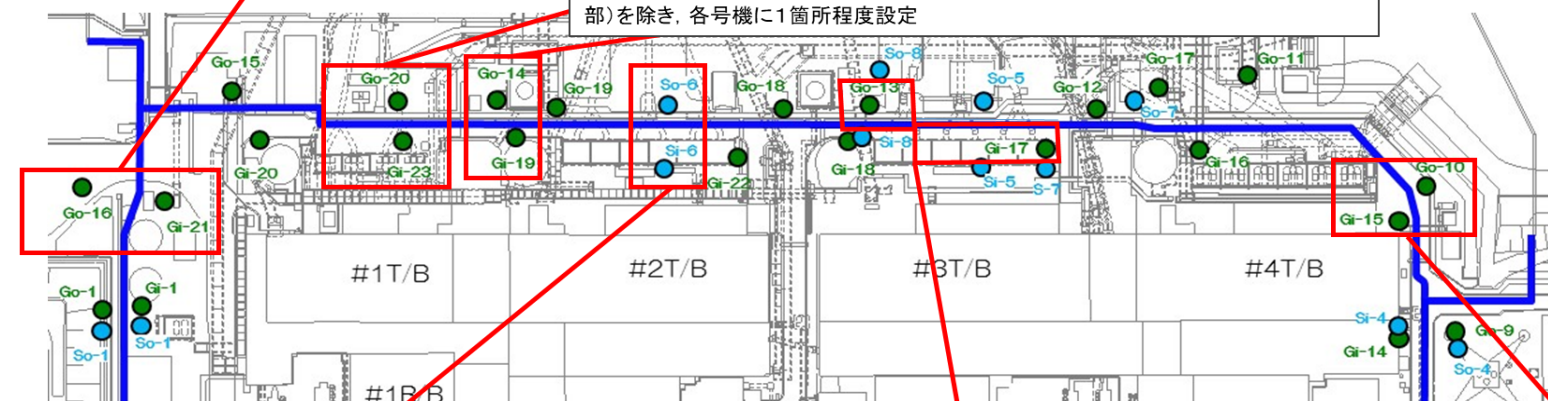
【参考2-4】地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 海側）



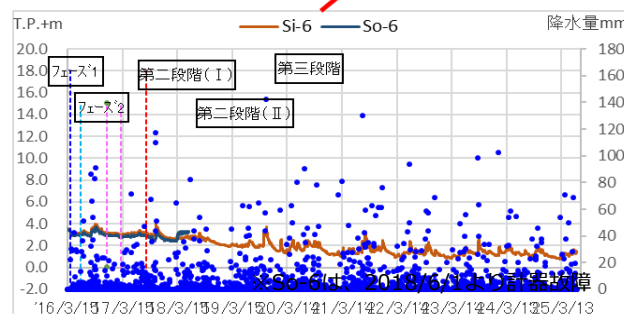
※Gi-23は、2022/2/20～
2024/6/25の期間は、計器故障

海側互層、細粒・粗粒砂岩のグルーピングは、非凍結箇所(各号機海水配管トンチ下部)を除き、各号機に1箇所程度設定

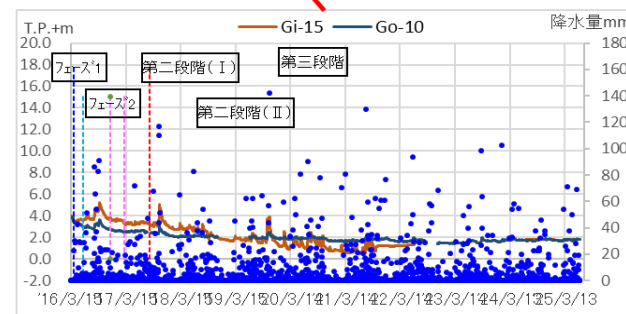
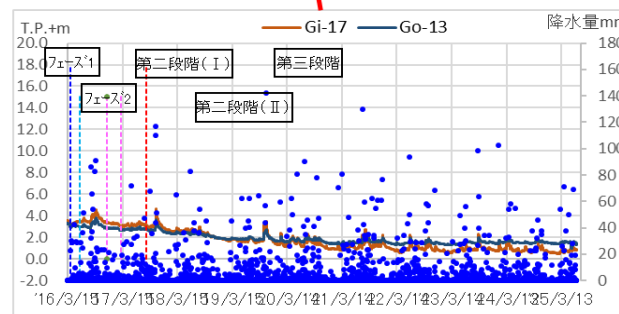
- 互層観測井
- 粗粒・細粒砂岩 観測井



フェーズ1: H28.3/31～
フェーズ2: H28.6/6～
第二段階(I): H28.12/3～
第二段階(II): H29.3/3～
第三段階: H29.8/22～



※So-6は、2018/6/13に計器故障



※Gi-15は、2022/7/4～2024/6/25期間は、計器故障

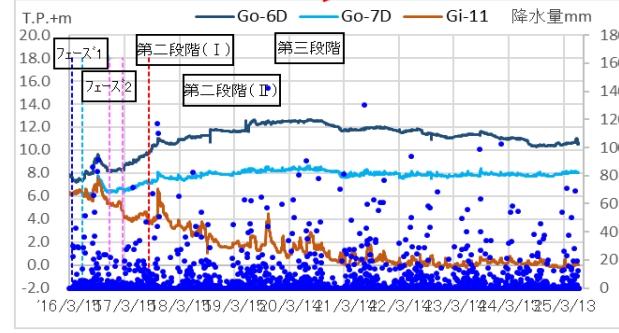
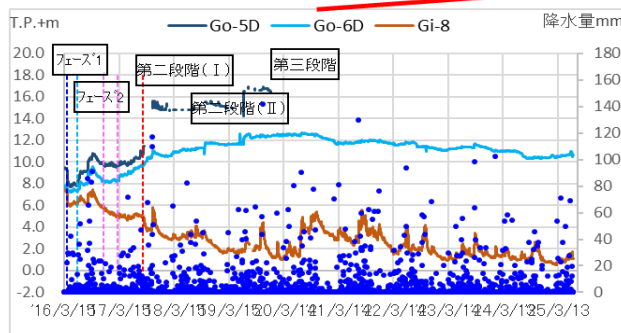
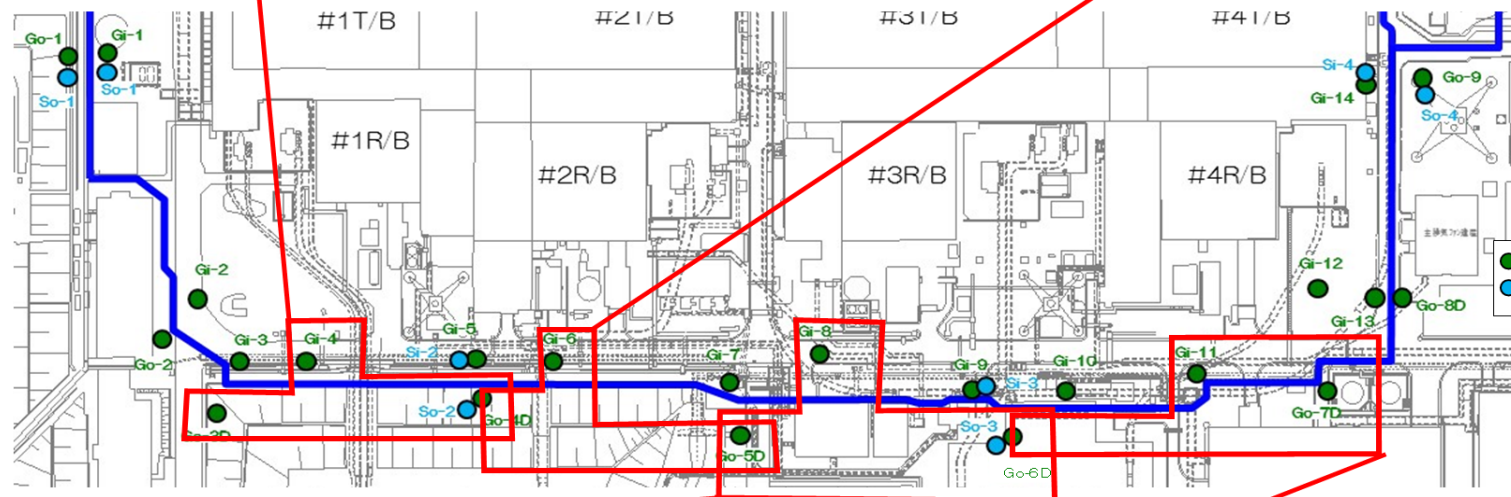
データ; ~2025/6/21

【参考2-5】地下水位・水頭状況（互層、細粒・粗粒砂岩層水頭 山側）

※Go-4Dは、2021/1/11より計器故障

※Go-4Dは、2021/1/11より計器故障

※Gi-6は、2022/7/25より計器故障



【参考2-6】サブドレン・注水井・地下水水位観測井位置図

